HITACHI

作成月：2025 年 11 月

Windows 版 COBOL2002 と Linux 版 COBOL2002 の機能仕様差

(1)規格

機能	製品種別		
	Windows 版 COBOL2002 04-70 (32 ビット版)	Windows 版 COBOL2002 04-70 (64 ビット版)	Linux 版 COBOL2002 04-70 (64 ビット版)
基本機能	○	○	○
順編成ファイル	○	○	○
相対編成ファイル	○	○	○
索引編成ファイル	○	○	○
整列併合	○	○	○
プログラム間連絡	○	○	○
組み込み関数	○	○	○
オブジェクト指向	○	○	○
共通例外処理	○	○	○
再帰呼び出し	○	○	○
利用者定義関数	○	○	○
局所場所節(LOCAL-STORAGE SECTION)	○	○	○
原始文操作	○	○	○
自由形式正書法	○	○	○
TYPEDEF 句と SAME AS 句	○	○	○
翻訳指令	○	○	○
区分化※	○	○	○

（凡例）
○：サポートしている
注※
覚え書きとしてサポートしている。

(2)X Open

機能		製品種別		
		Windows 版 COBOL2002 04-70 (32 ビット版)	Windows 版 COBOL2002 04-70 (64 ビット版)	Linux 版 COBOL2002 04-70 (64 ビット版)
テキスト編成ファイル		○	○	○
ファイル共用（ファイルシェア）	順編成ファイル	○	○	○
	相対編成ファイル	○	○	○
	ISAM による索引編成ファイル	○	○	○
	テキスト編成ファイル	×	×	○
	CSV 編成ファイル	×	×	×
	HiRDB による索引編成ファイル	×	×	×
	Btrieve による索引編成ファイル	○	×	−
コマンド行および環境変数へのアクセス		○	○	○
画面節（SCREEN SECTION）による画面操作		○	○	×
C 言語インタフェース		○	○	○
インターナショナリゼーション		−	−	○

（凡例）
○：サポートしている
×：サポートしていない
−：該当しない

(3)拡張機能

機能		製品種別		
		Windows 版 COBOL2002 04-70 (32 ビット版)	Windows 版 COBOL2002 04-70 (64 ビット版)	Linux 版 COBOL2002 04-70 (64 ビット版)
日本語		○	○	○
ブール演算		○	○	○
アドレス操作		○	○	○
1 バイト 2 進および COMP-X 項目		○	○	○
浮動小数点項目		○	○	○
ISAM による索引編成ファイル機能の拡張（合成キー，逆順読み）		○	○	○
CSV 編成ファイル		○	○	○
HiRDB による索引編成ファイル		○	○	●
Btrieve による索引編成ファイル		○	×	−
リモートファイルアクセス		○	×	×
ラージファイル入出力	順編成ファイル	○	○	○
	相対編成ファイル	×	×	×
	ISAM による索引編成ファイル	○	×	×
	テキスト編成ファイル	○	○	○
	CSV 編成ファイル	○	○	○
	HiRDB による索引編成ファイル	×	×	×
	Btrieve による索引編成ファイル	×	×	−
COBOL 入出力サービスルーチン		○	○	○
バイトストリーム入出力サービスルーチン		○	○	○
ファイル入出力拡張機能	ファイルサイズがレコード長の整数倍でない固定長形式の順ファイル入出力	−	−	○
	ファイルバッファサイズ指定機能	−	−	○
画面節（WINDOW SECTION）による画面操作	画面節（WINDOW SECTION）	○	○	×
	JCPOPUP サービスルーチン	○	○	×

機能		製品種別		
		Windows 版 COBOL2002 04-70 (32 ビット版)	Windows 版 COBOL2002 04-70 (64 ビット版)	Linux 版 COBOL2002 04-70 (64 ビット版)
通信節による画面操作（XMAP3）		○	○	×
COPY 文の接頭辞／接尾辞		○	○	○
プリンタへのアクセス	XMAP3 による印刷	○	×	×
	GDI モード印刷	○	○	−
	ESC/P モード印刷	○	○	−
ファイルのディスク書き込み保証（書き込み時）	順編成ファイル	○	○	○
	相対編成ファイル	○	○	○
	ISAM による索引編成ファイル	○	○	○
	テキスト編成ファイル	×	×	×
	CSV 編成ファイル	×	×	×
	HiRDB による索引編成ファイル	×	×	×
	Btrieve による索引編成ファイル	×	×	−
ファイルのディスク書き込み保証（クローズ時）	順編成ファイル	○	○	○
	相対編成ファイル	○	○	○
	ISAM による索引編成ファイル	×	×	○
	テキスト編成ファイル	×	×	○
	CSV 編成ファイル	○	○	○
	HiRDB による索引編成ファイル	×	×	×
	Btrieve による索引編成ファイル	×	×	−
報告書作成機能		○	○	○
MIOS7 COBOL85 との互換機能		○	△	×
イベントログファイル／syslog ファイル出力機能		○	○	×※
データコミュニケーション機能		○	○	○
データベース操作機能（ODBC インタフェース）		○	○	○
XDM によるデータベースシミュレーション機能	構造型データベース（XDM/SD）	○	○	○
	リレーショナルデータベース（XDM/RD）	○	○	○

機能		製品種別		
		Windows 版 COBOL2002 04-70 (32 ビット版)	Windows 版 COBOL2002 04-70 (64 ビット版)	Linux 版 COBOL2002 04-70 (64 ビット版)
OLE2 オートメーション機能	クライアント機能	○	○	−
	サーバ機能	−	−	−
CGI プログラム作成支援機能		−	−	×
マルチスレッド環境	作成と実行	○	○	○
	デバッグ	○	○	△
MSMQ アクセス機能		○	○	−
エンディアン切り替え		○	○	○
Unicode 機能		○	○	○
数字項目のけた拡張機能		×	○	○
動的長基本項目機能		○	○	○
定数長拡張機能	英数字定数長の拡張	○	○	○
Java プログラム呼び出し機能		○	○	−

（凡例）

○：サポートしている

●「シフト JIS 機能」使用時でだけサポートしている

https://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/soft1/cobol/product/function/function_char.html

×：サポートしていない

△：サポートしている機能であるが，使える機能に一部制限がある

−：該当しない

注※

限定公開で syslog ファイル出力機能をサポート済

(4)デバッグ機能

機能		製品種別		
		Windows 版 COBOL2002 04-70 (32 ビット版)	Windows 版 COBOL2002 04-70 (64 ビット版)	Linux 版 COBOL2002 04-70 (64 ビット版)
実行時デバッグ機能		○	○	○
テストデバッグ機能	GUI モード	○	○	×
	バッチモード	○	○	○
	ラインモード	−	−	○
カバレージ機能	GUI モード	○	○	×
	バッチモード	○	○	○

（凡例）
○：サポートしている
×：サポートしていない
−：該当しない

(5)連携機能

機能	製品種別		
	Windows 版 COBOL2002 04-70 (32 ビット版)	Windows 版 COBOL2002 04-70 (64 ビット版)	Linux 版 COBOL2002 04-70 (64 ビット版)
XML 連携機能	○	○	○
Cosminexus 連携機能	○	○	○

（凡例）
○：サポートしている
×：サポートしていない

(6)開発／実行環境

機能	製品種別		
	Windows 版 COBOL2002 04-70 (32 ビット版)	Windows 版 COBOL2002 04-70 (64 ビット版)	Linux 版 COBOL2002 04-70 (64 ビット版)
開発マネージャ	○	○	－
実行支援	○	○	－
ODBC レコード定義生成	○	○	－
ファイル／レコード定義	○	○	－
画面定義	○	○	－
COBOL エディタ	○	○	－
コマンドプロンプト	○	○	－

（凡例）
○：サポートしている
－：該当しない

なお，Windows 版 COBOL2002 Developer Professional では，COBOL プログラム全体の「見える化」を支援する資産分析機能をサポートしています。
詳細は以下を参照してください。
https://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/soft1/cobol/product/function/function_dev01.html